

くろかわらばん

平成29年12月発行 第27号



平成29年黒川展覧会より

*****病院理念*****

私たちは地域の方々に愛され
安心して利用できる病院を目指します



- 2P 「統合失調症」について
- 3P 地域連携室からのお知らせ
- 4P 認知症疾患医療センター通信
- 5P めっせーじ
- 6P 外来診療案内・すたでい

今号は特集第3弾「統合失調症の看護について」としまして、慢性期病棟（精神療養病棟）渡辺正和看護主任から紹介いただきます。



看護主任 渡辺正和
10月岩船港付近
アオリイカ釣り

統合失調症では【認知機能】と【行動】が障害され、これから紹介すること等がおこりますが、そういった状況にある統合失調症の看護についてお話しします。

【認知機能】

●注意力がなくなる「注意の障害」

「注意の障害」への対応は、ご本人の注意を維持できるように工夫することが大切です。日々の関わりの中では、安心できる環境や刺激の少ない環境を整え、集中しやすい環境とし、一度に伝える情報の量と質を調整します。時にはスタッフが「傍らにいる」ことを伝えることで安心していただきます。

●言葉が出にくくなる、情報をまとめることができず思い出せなくなる 「記憶の体制下の障害」

「記憶の体制下の障害」への対応は、口頭や紙面で伝え、得意な記憶機能を活用できるようにします。日々の関わりでは、タイムスケジュールを提示したり、課題や目標、希望を表記してみたりして、繰り返し行動で覚える様な記憶を優先し、再認できるように支援します。

●曖昧さが非常に苦手になる「情報の文脈処理の障害」

「情報の文脈的処理の障害」への対応は、動作や行動を見て同じようなことをする（モデリングという）等を活用し、練習します。日々の関わりでは、具体的に望まれる行動を伝え、意図していることや思惑も伝えるようにします。ストレートで素直な伝え方をすることで分かりやすくするのでもいいでしょう。

【行動】

●自発性が乏しくなり行動が遅くなる「自発的な行動の枠組み作りの障害」

「自発的な行動の枠組み作りの障害」への対応は、病気の状態や薬の作用を考え、温かい賞賛（ほめる）をするようにしています。日々の関わりでは、肯定文の関わりが大切で、できていることを伝えるようにして賞賛や承認をします。「できないこと」を注意、叱咤、修正することをポイントにしがちですが、「できていること」を確認して認め自信を持てるように関わり、その「できていること」を土台として課題を一つ一つ積み重ねていけるように支援をします。ほめられるというのは力になり、とても気持ち良いことなのです。

●「場に不適切な行動」をとってしまうこと

「場に不適切な行動」への対応は、改善点をその場で具体的に指摘する必要があります。そして、より具体的な提案をしていきます。日々の関わりでは、見ているものを解説し、手本にするもののポイントを伝えます。特に行動面でのポイントが大切です。

終わりに、統合失調症は、絶望と孤独感を抱えていることがあります。それはとても辛いことでしょう。不安については訴えるすべがあるかもしれませんが、孤独感はどうしたらいいのでしょうか。看護者は、ご本人を知った上で、回復へのイメージに合わせ、治療では服薬や生活の支援をしています。ご本人が失敗しても責めません。言葉を待ち、話を聴き、個性を認め、ご本人のペースに合わせて共に歩む。言葉を交わせない状態でも「傍らにいる」ことで孤独感が和らいだなら…必要としていただけたら…そんな思いで日々の看護に臨んでおります。



地域連携室からのお知らせ

★今回は、入院から退院までのおおまかな流れについてお知らせします。

入院から退院までの流れ



入 院

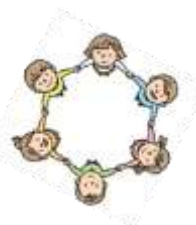
入院に必要な書類に、署名捺印をして頂きます。また、病棟看護師より、ケアに必要な情報収集をさせて頂きます。

入院中のご家族の面会はとても重要です。ご協力をお願いします。

ご本人の状態や希望、ご家族の不安や希望などを聴取し、治療や支援を開始します。



ご本人とご家族、病院内外の多職種や他機関と連携し、カンファレンス等を行い、退院に向けて取り組んでいきます。



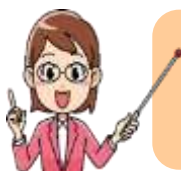
ご本人とご家族、病院職員とご自宅や施設等へ訪問することがあります。退院後の生活について一緒に考えていきます。



ご本人の入院治療が終わり、退院となります。



退 院



ご不明な点等ございましたら、お気軽に地域連携室までご相談下さい。



認知症疾患医療センター通信

Vol.10



寒さが身に染みる季節となりました。今年も残すところあと僅かです。
空気が乾燥しているので、風邪などひかないように手洗い・うがい・換気を心掛けたいですね。



介護教室&虹色カフェやまぼうし (9月13日)



同日
開催



介護教室&虹色カフェやまぼうしを開催しました。介護教室では、作業療法士による健康体操を行い、続いて開催したカフェではミニ運動会を行いました。

玉入れやボール送り、菓子食い競争と、どの競技も参加者、応援者ともに大盛り上がりでした。特に院内保育所の子供たちも参加していた菓子食い競争では、一生懸命走る子供たちの姿に皆さん癒された様子でした。

当日は介護教室&認知症カフェの同日開催という初の試みでしたが、80名と大変多くの方にご参加頂きました。次回は来年を予定していますので、興味のある方は是非ご参加ください。



院内研修会 (11月6日)

以下のテーマ(講師)で研修会を開催しました。

- ・ **認知症になっても安心して暮らせる地域づくり**
(ちゅーりっぷ苑 新野直紀氏)
- ・ **胎内市街あるき声かけ見守り模擬訓練に向けて**
(地域包括支援センターやまぼうし 柳沼裕子氏)

研修会を通し、病院職員であると共に、地域の一員でもあること。住んでいる地域の一員として「自分が」「家族が」認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活するためにできることを考える機会となりました。



胎内市 街あるき 声かけ見守り模擬訓練 (11月8日)

胎内市、(医)白日会、(社)くろかわ福祉会の共催で、旧黒川地区を対象とした初めての模擬訓練を実施しました。

当日は警察・消防の方にも協力して頂き、地域住民の方や病院・施設職員など総勢85名の参加がありました。このような訓練を通して認知症の方が安心して外出できる街づくりに今後も協力していきたいと思えます。



～ 認知症講演会のお知らせ ～

- ◆ 日 時 : 平成29年12月16日(土) 午後1時30分～3時30分(午後1時開場)
- ◆ 場 所 : 胎内市産業文化会館 多目的ホール
- ◆ 内 容 : 認知症の人の思いから始めるまちづくり
- ◆ その他 : 主催は胎内市。申込不要・入場無料。



(黒川病院)認知症疾患医療センターでは、もの忘れ外来の受診予約や入院、認知症に関する相談など、担当の相談員がお話を伺います。秘密は厳守されます。まずはお気軽にご相談ください。

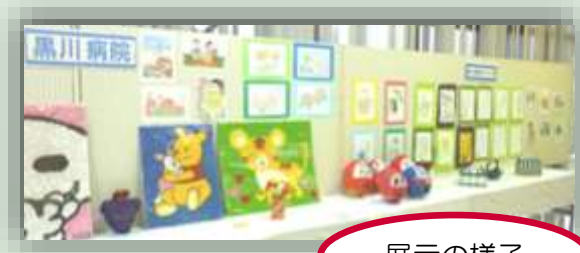
お問合せ先 : (黒川病院内)認知症疾患医療センター 医療相談員 : 宮下・脇川・渡邊(真)・伊藤
☎0254-47-2640 ※平日午前9時～午後5時まで

め っ せ ー じ

平成29年10月29日胎内市黒川地区公民館にて開かれました黒川展覧会に当院の患者さんの作品を展示していただきました。ほんの一部の作品ですが、ご紹介いたします。



ペーパークラフトを編み込みバッグを作成しました。



展示の様子



張子工芸 だるま風船を膨らませ、新聞紙を細かくし、のりと水で溶かし、何度も重ねて貼って乾かし絵を描きました。



アメリカンフラワー
Dip液と呼ばれるものにワイヤーで模ったものを浸し、ゆっくり引き上げることで液の膜ができ、乾かすときれいな花びらができます。その花びらを重ね合わせて造花しました。
注：作成する際は、火気厳禁です！
また換気をよく行いましょう。



習字と塗り絵

外来診療案内

精神科担当医

月	火	水	木	金	土
宮本	関野 松井	宮本 小熊	関野 松井	関野 小熊	※ ・関野 ・宮本 ・松井
内科担当医					
	吉田				

診療科 : 精神科 内科 歯科
 診察日 : 月～金
 土 (第1・第3)
 ※歯科は木曜休診です
 休診日 : 土・日・祝祭日
 受付時間 : 午前8時30分
 ～ 午前11時まで
 診療時間 : 午前9時から
 (診療は午前のみ)

出張等により変更となる場合がございます。※は第1・第3土曜のみです。



平成29年11月9日、28日に新発田・村上保健所、地域生活支援センターはまなすの主催で下越圏域精神科病院と地域の体験交流研修会が当院で開催されました。地域の方々が見学に来院され、実際に病棟に入り、各スタッフから患者さん

の抱えている問題、退院に向けての取り組みなど説明を聞いていただきました。

参加された方からの感想を少し紹介いたします。

『黒川病院の概要を聞き、また院内を見ることができ、雰囲気、利用者の方の活動、スタッフの方々の現場を生でみることができ、貴重な体験でした。』

『おちついた環境で治療している様子うかがえました。認知症の方、高齢者の方が多く入院されていることがわかりましたし、1人1人にていねいに対応されていると思いました。』

『精神科の病棟を見学して、予想以上に明るい雰囲気だった』



編集後記

今年も早いもので残りあとわずか…。皆さんは今年中にやっておきたかったことはありませんか？私は今年中に日本一小さい山脈でもある胎内市の櫛形山脈を縦走をしたのですがまた来年の課題となりました (^ _ ^)

発行：医療法人白日会 黒川病院
 〒959-2805
 新潟県胎内市下館字大開1522番地
 電話：0254-47-2422
 FAX：0254-47-3181
<http://www.hakujitsukai.com>

